

通好みのソーセージを

富岡のドイツ人が技術指導

富岡市産の知的財産者
酒井教授と、セルブ水士会
（会名変更前）で土曜日の
の十六日まで、ドイツ人のフ
リッドバード・ルニングさん
とセルブ水士会、ソーセージの作
り方を指導している。フリッ
ドバードさんは技術指導のため
中津を訪れた後、会館施設
長の依頼で日本に立ち寄っ
た。

セルブ水士会の業務場は、
設備に配慮した特殊な視座を
使ったシステムで、ほとんど外
に響かない。ドイツでは、
この方式が主流になりつつあ
るという。

フリッドバードさんは規定

の仕方によって、通好みのさ
まざまなソーセージを作る
ことを紹介。「機械を安全に
正確に使いこなして、おいし
いソーセージを作ってください
とお願いしている。



セルブ水士会で業務場の使い方を説明する
フリッドバードさん（右）